UNITIKA
We Realize It!

ユニチカ株式会社

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算の概要

2026年11月10日

© UNITIKA LTD.

CONTENTS

目次

1 2027年3月期 中間期決算概要

2 2027年3月期 通期業績予想の修正

3 参考資料

© UNITIKA LTD.

決算のポイント

UNITIKA
We Realize It!

2027年3月期 中間期実績

- 前期に実施した事業撤退の影響により全社売上高は489億円（前年同期比▲132億円）となったものの、高分子事業およびガラス繊維事業を中心に販売が好調に推移し、継続事業では増収を維持。
- 第1四半期からの好調な受注を維持したことに加え、高付加価値・高機能製品の販売拡大や各種収益改善施策の効果により、営業利益は79億円（前年同期比＋22億円）と大幅に増加。中間期として過去最高益を更新。営業利益率も16.1%と改善。
- 営業増益に加え、営業外損益の改善により、経常利益は76億円（前年同期比＋28億円）と大幅な増益。親会社株主に帰属する中間純利益も75億円（前年同期は35億円の赤字）となり、黒字へ転換。

2027年3月期 通期業績予想

- 足元の事業環境を踏まえ、通期業績予想を上方修正。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	
5月公表	840	80	65	50	（億円）
今回修正	940	130	120	110	（億円）

- 5月公表時の想定を上回る需要を背景に、高付加価値・高機能製品を中心に販売が計画を上回って推移。
- 原燃料価格が上昇する中、調達先の切り替えや価格改定、生産性向上、販管費削減等の収益改善施策を推進し、収益への影響を抑制。

© UNITIKA LTD.

CHAPTER

1

2027年3月期
中間期決算概要

© UNITIKA LTD.

1．2027年3月期 中間期決算概要　業績の概要（1）

UNITIKA We Realize It!

売上高	**489億円**（前年同期 621億円 / 前年同期比 ▲132億円） 事業撤退の影響により前年同期比21.3%の減収となったものの、**継続事業は増収を維持**。食品包装および電子材料分野を中心とした高付加価値・高機能製品の販売拡大が継続。
営業利益	**79億円**（前年同期 56億円 /前年同期比 +22億円） 継続事業の好調な受注と高付加価値品の拡販等の施策効果により、**前年同期比39.7%の増益**。営業利益率は16.1%（前年同期比＋7.0ポイント）に大幅改善。
経常利益	**76億円**（前年同期 48億円 /前年同期比 +28億円） 営業利益の増加に加え、受取配当金の増加や、構造改革による有利子負債の圧縮に伴う支払利息の減少等により、**前年同期比57.9%の大幅な増益**。
親会社株主に帰属する中間純利益	**75億円**（前年同期 ▲35億円 /前年同期比 +109億円） 前期に発生した事業構造改善費用が大幅に減少したこと等により、前年同期の**赤字から黒字へ転換**。

© UNITIKA LTD.

1．2027年3月期 中間期決算概要　業績の概要（2）

UNITIKA We Realize It!

連結合計（単位：億円）	2025年3月期 中間期実績	2026年3月期 中間期実績	2027年3月期 中間期実績	前々年同期比	前年同期比
売上高	616	621	489	▲126	▲132
売上総利益	123	153	150	+26	▲3
営業利益	22	56	79	+57	+22
営業利益率	(3.6%)	(9.1%)	(16.1%)	(+12.5pt)	(+7.0pt)
経常利益	12	48	76	+65	+28
特別利益	2	1	14	+13	+13
特別損失	109	80	16	▲93	▲64
親会社株主に帰属する中間純利益	▲98	▲35	75	+173	+109
減価償却費*	24	14	14	▲10	▲0
設備投資*	18	13	19	+1	+6

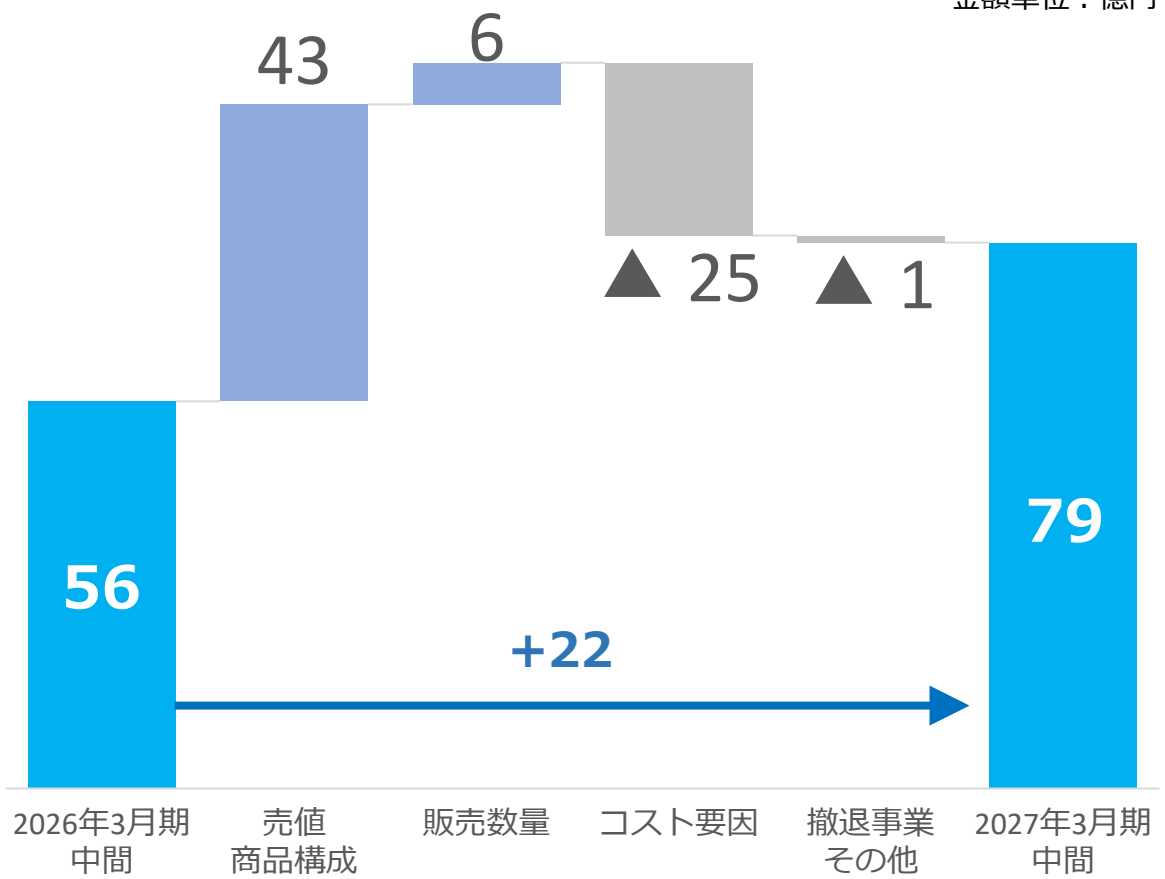
* 減価償却費、設備投資額は無形固定資産分を含まない

© UNITIKA LTD.

UNITIKA We Realize It!

営業利益　56億円 → 79億円　（前年同期比 +22億円）

金額単位：億円



■売値・商品構成

高付加価値品・高機能製品の販売拡大が大きく貢献
原燃料価格の高騰に対応した価格改定により原価悪化影響を低減

■販売数量

定番品の受注が好調に推移したことも増益に寄与

■コスト要因

原燃料価格の上昇を主因にコストが増加
各種コストダウン施策を進めたものの、収益を圧迫

■撤退事業その他

前期に発生した撤退前の駆け込み需要の反動減

© UNITIKA LTD.

1．2027年3月期 中間期決算概要　資産・負債・純資産／CF

UNITIKA We Realize It!

（金額単位：億円）	2026年3月末	2026年9月末	前期末比増減
資産合計	1,507	1,431	▲76
流動資産	870	798	▲72
固定資産	637	633	▲4
負債合計	967	814	▲152
純資産合計	540	617	+76
株主資本	515	587	+72
その他の包括利益累計額	23	27	+4
非支配株主持分	3	3	+0

（金額単位：億円）	2026年3月期中間実績	2027年3月期中間実績	前年同期比増減
営業活動CF	56	38	▲17
投資活動CF	10	▲13	▲23
FCF	65	26	▲40
財務活動CF	197	▲118	▲315
現預金増減	260	▲88	▲348

（金額単位：億円）	2026年3月末	2026年9月末	増減
現金・現金同等物残高	473	385	▲88

営業CF：法人税等の支払額▲42億円、他

投資CF：設備投資▲19億円、他

財務CF：借入金返済▲113億円、他

© UNITIKA LTD.

1．2027年3月期 中間期決算概要　セグメント別　業績の概要

セグメント別 （金額単位：億円）	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年同期比増減	
			金額	率
売上高	**621**	**489**	**▲132**	**▲21.3%**
高分子事業	284	356	+72	+25.4%
機能資材事業	190	97	▲94	▲49.3%
その他事業	147	37	▲111	▲75.1%
営業利益	**56**	**79**	**+22**	**+39.7%**
高分子事業	50	61	+11	+22.2%
機能資材事業	9	19	+11	+126.0%
その他事業	▲2	▲2	+1	—

© UNITIKA LTD.

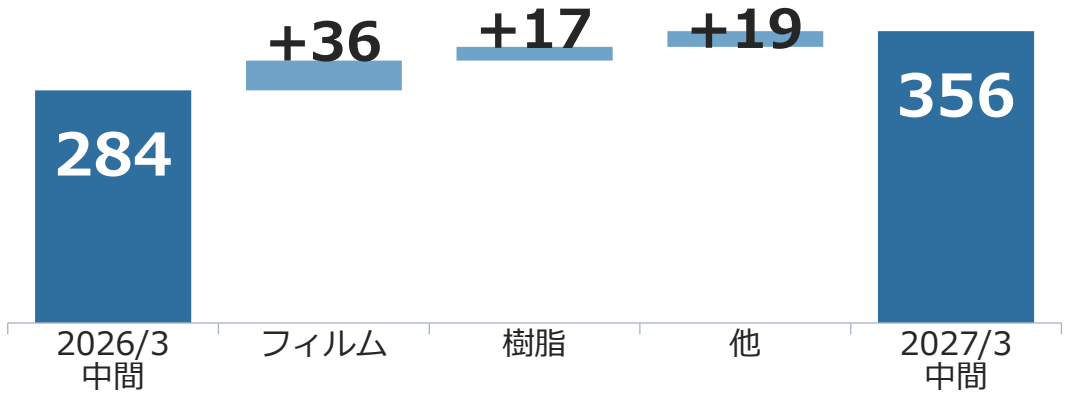
1．2027年3月期 中間期決算概要　高分子事業の状況

金額単位：億円

		2026年3月期中間	2027年3月期中間	増減
売上高	高分子事業 計	284	356	+72
	フィルム	164	200	+36
	樹脂	71	88	+17
	他	49	68	+19
営業利益		50	61	+11

売上高　（億円）

全体　284 → 356 (+72)



■フィルム事業

包装分野では、ナイロンフィルム、ポリエステルフィルムともに販売が堅調に推移。工業分野では、ＡＩサーバー向けなど電子材料分野の旺盛な需要を背景に、シリコーンフリー離型フィルム「ユニピール」の販売が拡大。海外でも包装分野は高機能製品を中心に販売が拡大。

■樹脂事業

エンプラは自動車部品および電気・電子部品用途が底堅く推移。価格改定やコストダウン等の効果もあり収益は堅調。機能樹脂はコストアップの影響を受けたものの、コーティング用途の需要は堅調。

■他事業

ユニチカ上海では、「エンブレムＨＧ」を中心に高機能包装フィルムの販売が伸長。

■セグメント営業利益　50 → 61億円（+11）

高付加価値・高機能製品の販売拡大に加え、価格改定やコストダウン等の効果により増益。

© UNITIKA LTD.

1．2027年3月期 中間期決算概要　機能資材事業の状況

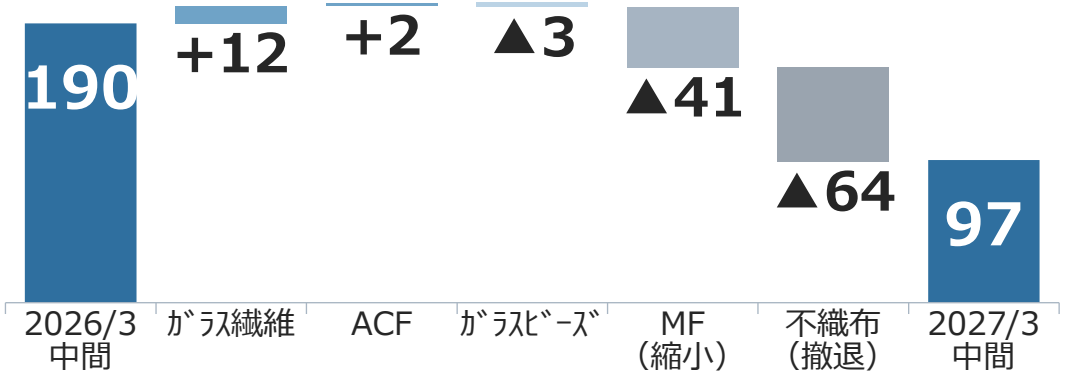
金額単位：億円

		2026年 3月期中間	2027年 3月期中間	増減
売上高	機能資材事業 計	190	97	▲94
	ガラス繊維	51	63	+12
	活性炭繊維(ACF)	11	13	+2
	ガラスビーズ	17	14	▲3
	モノフィラメント（事業縮小）	48	7	▲41
	不織布（事業撤退）	64	–	▲64
営業利益		9	19	+11

※モノフィラメントは旧産業繊維事業（前期は旧産業繊維として表示）

売上高　（億円）

全体　190 → 97 (▲94)



※ 青＝継続事業 、淡灰＝事業縮小（MF＝ﾓﾉﾌｨﾗﾒﾝﾄ）、濃灰＝事業撤退（不織布）。

■ガラス繊維事業

産業資材分野は、テント・シート類を中心に堅調。電子材料分野では、AI関連の半導体市場拡大を背景に、超極薄低熱膨張ガラスクロスおよび超極薄Eガラスクロスの販売が好調。モバイルメモリ用途に加え、アプリケーションプロセッサ用途も伸長。

■活性炭繊維（ACF）事業

家庭用浄水器用途を中心に販売が伸長。めっき液フィルター用途も堅調に推移。

■ガラスビーズ事業

道路用途は底堅く推移。工業用途はシェア拡大や価格改定の効果も需要増が一巡し減少、反射材用途は国内が伸長、海外は低調。

■モノフィラメント事業（旧産業繊維事業）

水産・スポーツ用途を中心とした堅調な需要に加え、不採算取引の見直しの効果も寄与し収益が好調。ナイロン中空糸膜も半導体分野で伸長。

■セグメント営業利益　9 → 19億円（+11）

ガラス繊維を中心とした高付加価値品の販売拡大や価格改定、コストダウンにより増益。

© UNITIKA LTD.

CHAPTER

2

2027年3月期
通期業績予想の修正

© UNITIKA LTD.

UNITIKA We Realize It!

足元の事業環境を踏まえ、通期業績予想を上方修正

（金額単位：億円）	2026年3月期実績	2027年3月期予想（今回修正）	前期比増減	2027年3月期中間実績	対予想進捗率	2027年3月期予想（5月公表値）
売上高	1,186	940	▲246	489	52.0%	840
営業利益	105	130	+25	79	60.8%	80
経常利益	104	120	+16	76	63.3%	65
親会社株主に帰属する当期純利益	182	110	▲72	75	68.2%	50

※2026年3月期の当期純利益は、固定資産売却益や債務免除益の計上により大幅な黒字。

※業績予想の前提

為替レート（円/米ドル）	原油価格（ドル/バレル）
159	100

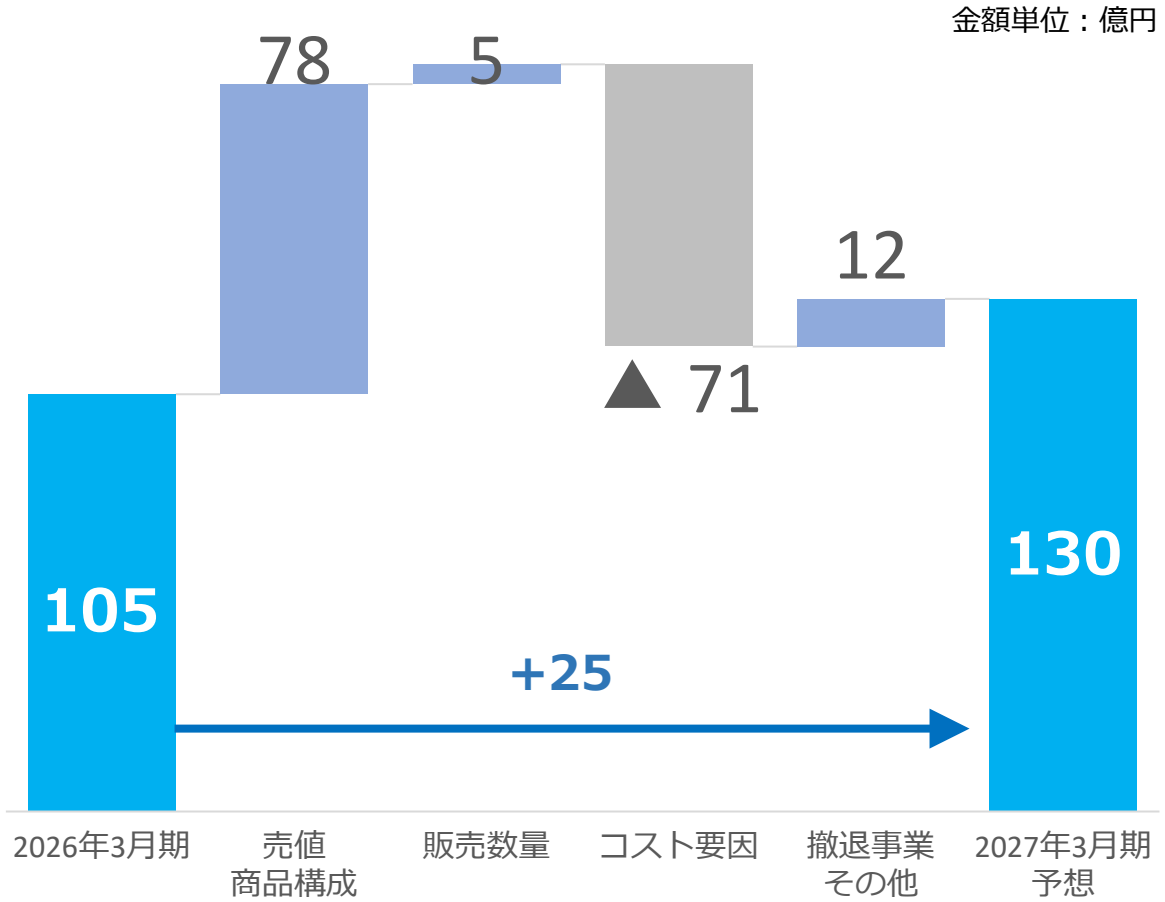
© UNITIKA LTD.

2．2027年3月期 通期業績予想の修正　営業利益変動要因分析

UNITIKA We Realize It!

営業利益　105億円　→　130億円　（前期比 +25億円）

金額単位：億円



■売値・商品構成

高付加価値・高機能製品の販売拡大による商品構成の改善に加え、価格改定効果も寄与

■販売数量

主要製品の堅調な受注を背景に、販売数量が増加

■コスト要因

原燃料価格の高止まりを想定し、通期ではコスト増が収益の圧迫要因となる見通し

■撤退事業その他

不採算事業からの撤退に伴う損失縮小等により収益が改善

※なお、中東情勢の緊迫化に伴う原燃料価格の高騰や供給制約の長期化等、事業環境の先行きには不透明感が残る。

© UNITIKA LTD.

CHAPTER

3

参考資料

© UNITIKA LTD.

4．参考資料　セグメント別 四半期売上高・営業利益

UNITIKA We Realize It!

（金額単位：億円）	2024年 1Q	2024年 2Q	2024年 3Q	2024年 4Q	2025年 1Q	2025年 2Q	2025年 3Q	2025年 4Q	2026年 1Q	2026年 2Q
売上高	307	309	320	329	309	312	335	229	241	248
高分子	141	140	141	132	139	144	141	139	170	186
機能資材	93	91	92	95	96	95	101	46	49	47
その他*	73	78	87	102	74	74	93	45	21	15
営業利益	12	11	21	16	28	28	34	15	42	37
高分子	15	13	18	15	23	27	26	19	31	30
機能資材	▲0	2	3	▲1	5	4	6	2	11	9
その他*	▲3	▲5	▲0	2	0	▲3	2	▲5	▲0	▲2

＊ 旧繊維セグメントの数値は「その他」に含む。

© UNITIKA LTD.

4．参考資料　サブセグメント別 四半期売上高

UNITIKA We Realize It!

（金額単位：億円）	2024年 1Q	2024年 2Q	2024年 3Q	2024年 4Q	2025年 1Q	2025年 2Q	2025年 3Q	2025年 4Q	2026年 1Q	2026年 2Q
高分子	141	140	141	132	139	144	141	139	170	186
フィルム	90	88	82	84	84	80	78	84	101	99
樹脂	34	34	35	35	36	35	37	38	45	43
その他	17	18	24	13	20	29	26	18	25	43
機能資材	93	91	92	95	96	95	101	46	49	47
ガラス繊維	24	24	23	22	23	27	31	27	32	31
ACF	5	5	5	6	5	6	7	6	7	6
ガラスビーズ	8	6	7	7	8	9	7	8	7	6
モノフィラメント	26	23	23	25	27	21	26	3	3	3
不織布（撤退）	30	32	35	34	33	32	29	1	-	-
その他*	73	78	87	102	74	74	93	45	21	15

＊ 旧繊維セグメントの数値は「その他」に含む。

© UNITIKA LTD.

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、
本資料作成時点において
入手可能な情報に基づいて作成したものであり、
実際の業績等は、今後の種々の要因によって、
本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

© UNITIKA LTD.